



シーシーエス株式会社 2009年7月期第2四半期 決算説明会

2009年3月11日(水)

ジャスダック 証券コード6669

目次

1. 経営理念
2. ニッチな市場でNo.1
3. なぜLEDが注目されているのか。
4. 2009年7月期第2四半期連結業績
および主なトピックス
5. 2009年7月期通期連結業績の見通し
6. 今後の事業戦略

経営理念

シーシーエスの企業理念

光を科学し、社会に貢献する

Creative Customer Satisfaction
クリエイティブ カスタマー サティスファクション

お客様の満足を高めるための技術と
製品をひたむきに追求し、
企業活動を通じて社会の役に立ちたい

人と地球にやさしい世界企業を目指す

当社は既存分野にとどまらず、様々な分野で
人にやさしく、地球環境にやさしい
光ビジネスを展開・拡大していきます。

新規事業

バイオ・アグリ分野
メディカル分野
目視・顕微鏡分野
民生・商業分野

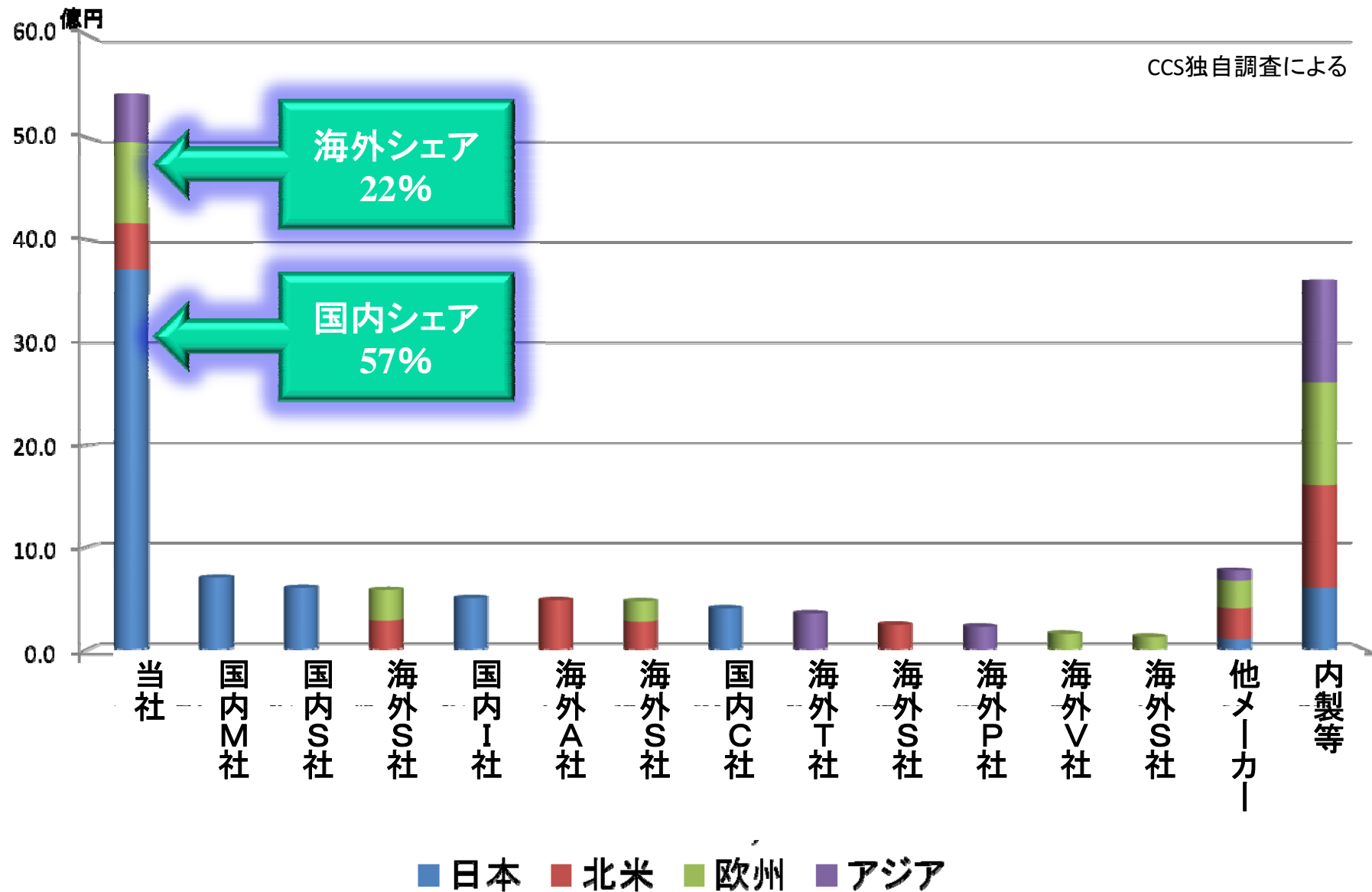
主力事業

マシンビジョン照明事業
(工業用LED照明)



ニッチな市場でNo.1

当社のポジショニング (LED光源・電源・オプション)

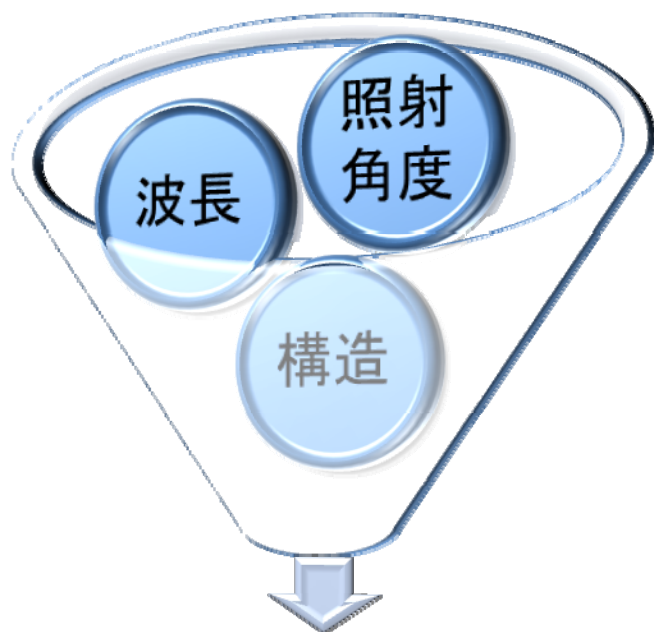


画像処理用LED照明のリーディングカンパニー



LEDを集めることによって、照明として利用できることに着目。創業より15年間に約400機種種の標準照明、その10倍の約4,000種類の特別仕様照明を開発製造。

画像処理用LED照明のリーディングカンパニー



光の性質による、
“光を当てる方法”

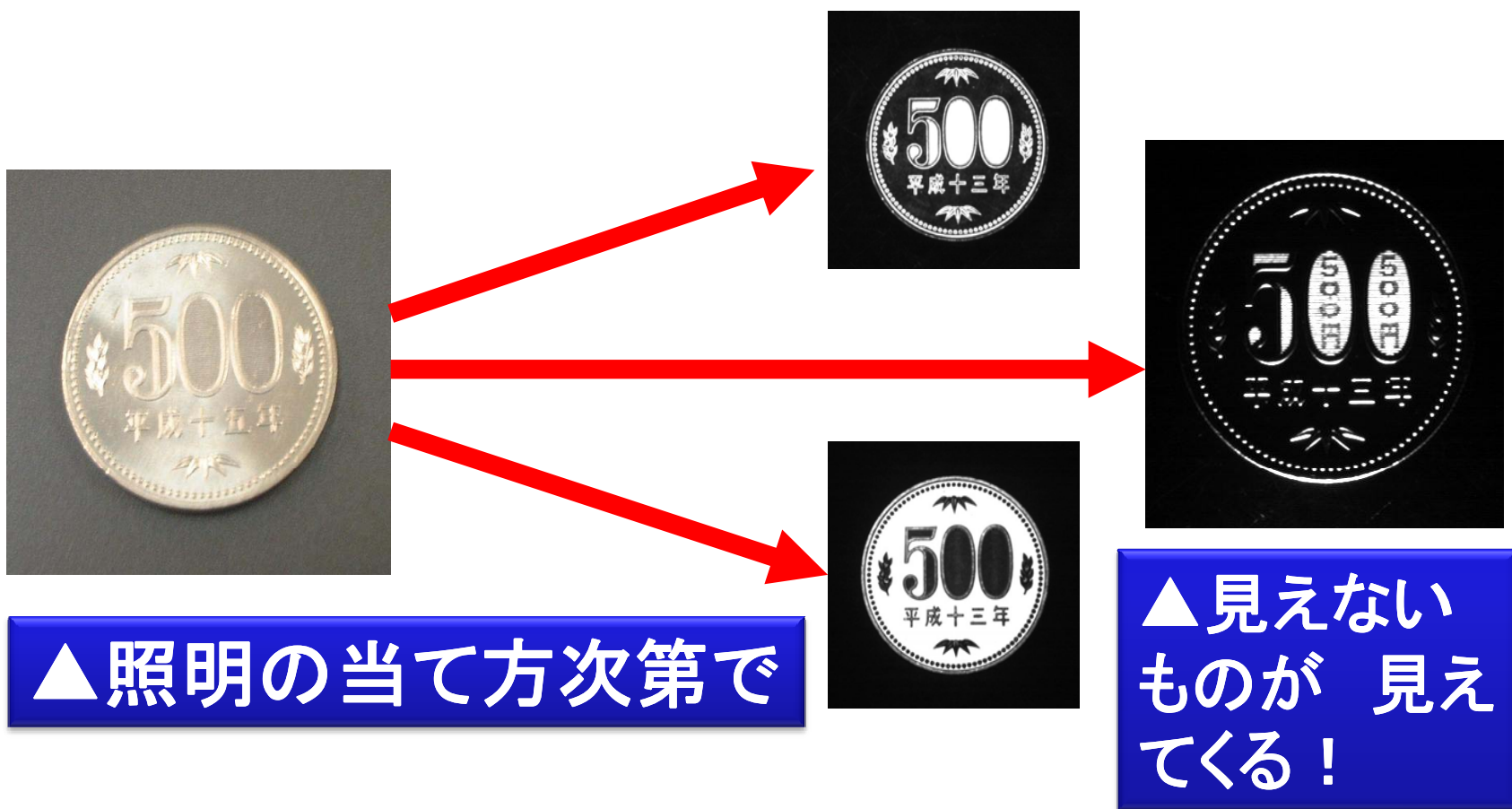
他の光源では実現できないことを可能にする。

画像処理検査の可能性と安定性を飛躍的に向上。

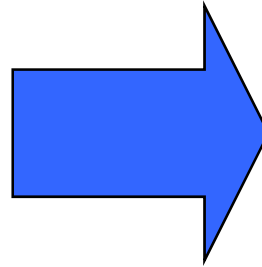


CCSの最大の強み

“光を当てる方向”（照射角度）を変えると見え方が変わる



“特定の色の光”（波長） を変えると見え方が変わる



※使用したサンプルワークは当社にて加工したものであり、
本来の品質・性能によるものではありません。

マシンビジョン照明において LEDへの置換えが進む理由は？

画像処理用照明市場を取り巻く環境



2009年7月期第2四半期連結業績 および主なトピックス

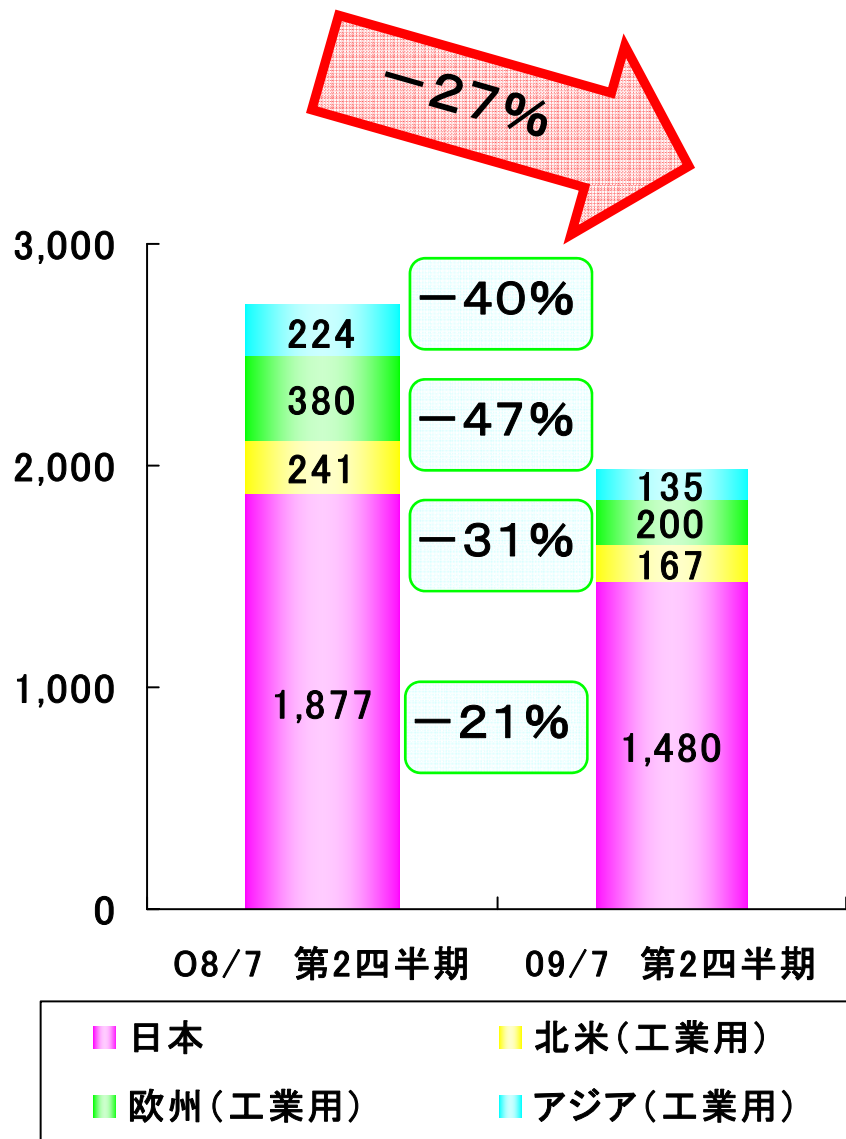
2009年7月期第2四半期連結業績

(単位:百万円) ()内:対売上比

	2008/7 上期	2009/7 上期		変動		
	実績 [A]	1Q決算時 計画 [B]	2/27修正 予想 [B']	実績 [C]	前期比[D] [C] - [A] [C] / [A]	計画比[E] [C] - [B] [C] / [B]
売上高	2,723	2,300	1,980	1,984	-739(73%)	-316(86%)
国内(工業用)	1,821(66.9%)	1,570(68.3%)	1,436(72.5%)	1,437(72.4%)	-384(79%)	-133(92%)
海外(工業用)	846(31.1%)	660(28.7%)	504(25.5%)	504(25.4%)	-342(60%)	-156(76%)
新規事業	56(2.1%)	70(3.0%)	40(2.0%)	43(2.2%)	- 13(77%)	- 27(61%)
売上総利益	1,783(65.5%)	1,500(65.2%)	1,260(63.6%)	1,254(63.2%)	-529(70%)	-246(84%)
販売管理費	1,368(50.2%)	1,600(69.6%)	1,430(72.2%)	1,426(71.9%)	58(104%)	-174(89%)
営業利益	414(15.2%)	-100(-4.3%)	-170(-8.6%)	-172(-8.7%)	-586(-42%)	- 72(-)
経常利益	401(14.7%)	-90(-3.9%)	-140(-7.1%)	-141(-7.1%)	-542(-35%)	-51(-)
当期純利益	261(9.6%)	-55(-2.4%)	- 90(-4.5%)	- 87(-4.4%)	-348(-33%)	-32(-)
研究開発費	211(7.7%)			279(14.1%)	68(132%)	
減価償却費	48(1.8%)			51(2.6%)	3(106%)	
設備投資額	376(13.8%)			164(8.3%)	-212(44%)	

地域別連結売上高

⊕ プラス要素 ⊖ マイナス要素

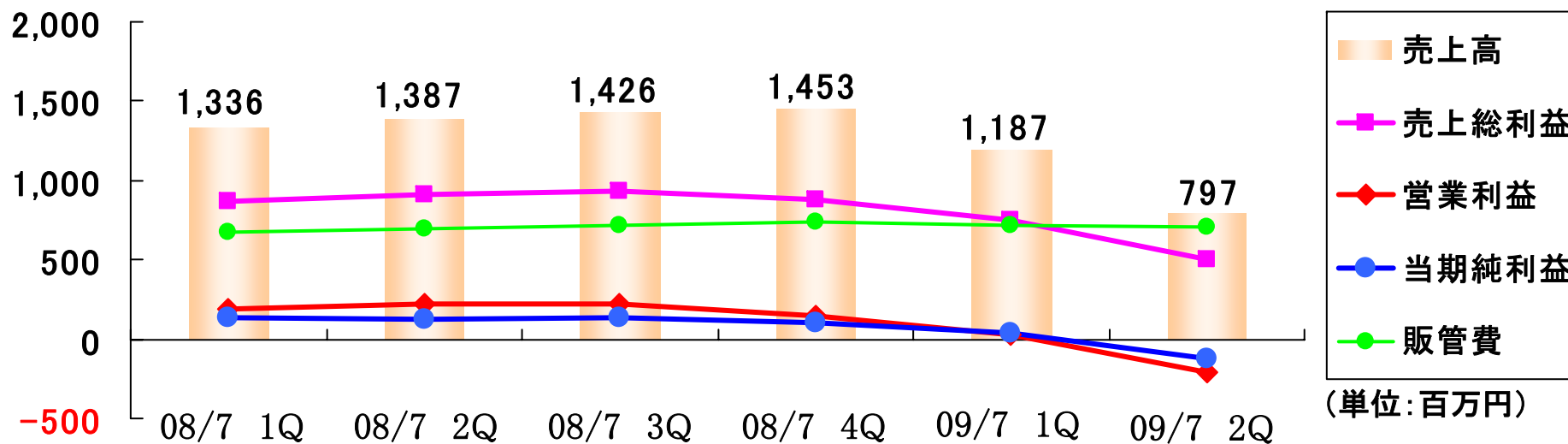


当社の状況	外部環境
⊖ 日本における半導体・電子・自動車業界向けが減少 ⊖ 海外における半導体関連が減少 ⊕ 日本、北米、欧州において太陽電池の検査用途の案件を獲得	⊖ 世界的に半導体および電子部品業界、自動車業界における設備投資が抑制 ⊕ 太陽電池に世界的な注目度

(単位:百万円)

四半期推移

	08/7 1Q	08/7 2Q	08/7 3Q	08/7 4Q	09/7 1Q	09/7 2Q
売上高	1,336	1,387	1,426	1,453	1,187	797
売上総利益	868(65.0%)	915(66.0%)	930(65.2%)	884(60.8%)	751(63.3%)	503(63.1%)
販管費	676(50.6%)	692(49.9%)	713(50.0%)	736(50.7%)	718(60.5%)	708(88.8%)
営業利益	191(14.3%)	223(16.1%)	217(15.2%)	148(10.2%)	32(2.7%)	-204(-25.6%)
経常利益	189(14.1%)	212(15.3%)	208(14.6%)	156(10.7%)	51(4.3%)	-192(-24.1%)
当期純利益	131(9.8%)	130(9.4%)	139(9.7%)	101(7.0%)	37(3.1%)	-124(-15.6%)



主なトピックス

〔マシンビジョン照明事業の状況〕

- 太陽電池およびリチウムイオン電池関連向けの営業強化
- LED光源ボックスの営業強化
- ライン照明案件のソリューション提案強化
- シンガポール子会社の商号変更<2009年1月>
RDV (S) PTE LTD⇒CCS Asia PTE LTD

〔新規事業の進捗状況〕

- フェアリーエンジェルに出資し、植物育成プラント事業に参画へ<2008年12月>
- アラブ首長国連邦・アブダビ展示会の三菱化学の展示ブースに植物育成用LED照明を提供<2009年1月>

2009年7月期通期連結業績 見通し

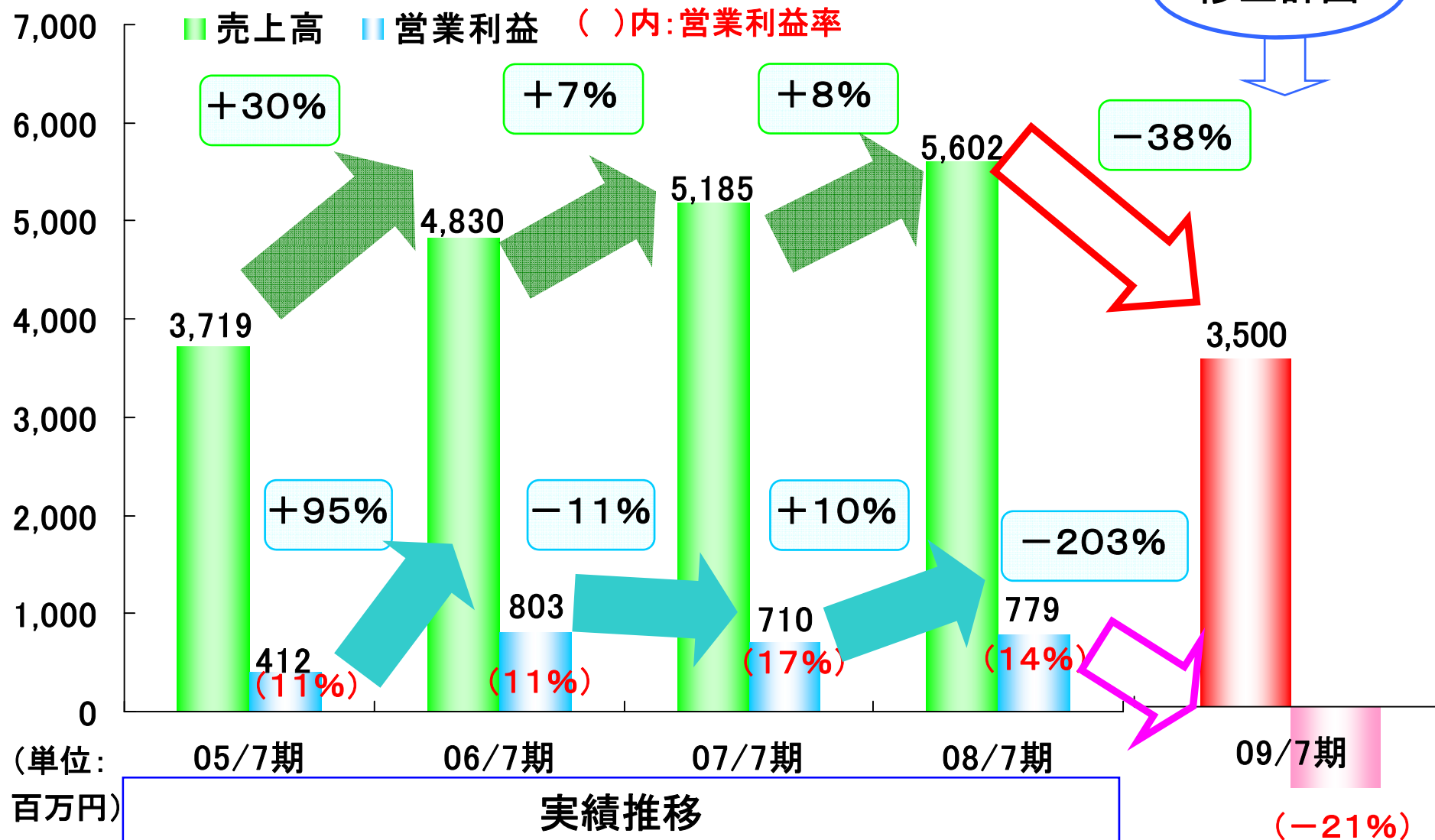
2009年7月期通期計画(連結)

(単位:百万円)
()内:対売上比

	08/7・通期	09/7・通期	09/7・通期・2/27発表の修正計画		
	実績 [A]	1Q決算時 修正 [B]	シーシーエス (フェアリーエン ジェル除く)	フェアリーエン ジェル	合計 [C]
売上高	5,602	5,000	3,320	180	3,500
国内(工業用)	3,747(66.9%)	3,200(64.0%)	2,240(67.5%)	-	2,240(64.0%)
海外(工業用)	1,753(31.3%)	1,430(28.6%)	930(28.0%)	-	930(26.6%)
新規事業	102(1.8%)	370(7.4%)	150(4.5%)	180(100%)	330(9.4%)
売上総利益	3,597(64.2%)	3,200(64.0%)	2,060(62.0%)	-60(-33.3%)	2,000(57.1%)
販売管理費	2,817(50.3%)	3,100(62.0%)	2,610(78.6%)	190(105.6%)	2,800(80.0%)
営業利益	779(13.9%)	100(2.0%)	-550(-16.6%)	-250(-138.9%)	-800(-22.9%)
経常利益	765(13.7%)	110(2.2%)	-530(-16.0%)	-260(-144.4%)	-790(-22.6%)
当期純利益	501(8.9%)	65(1.3%)	-337(-10.2%)	-63(-35.0%)	-400(-11.4%)
研究開発費	470(8.4%)				574(16.4%)
減価償却費	157(2.8%)				205(5.9%)
設備投資額	517(9.2%)				241(6.9%)

売上高と営業利益の推移(連結)

修正計画



今後の事業戦略

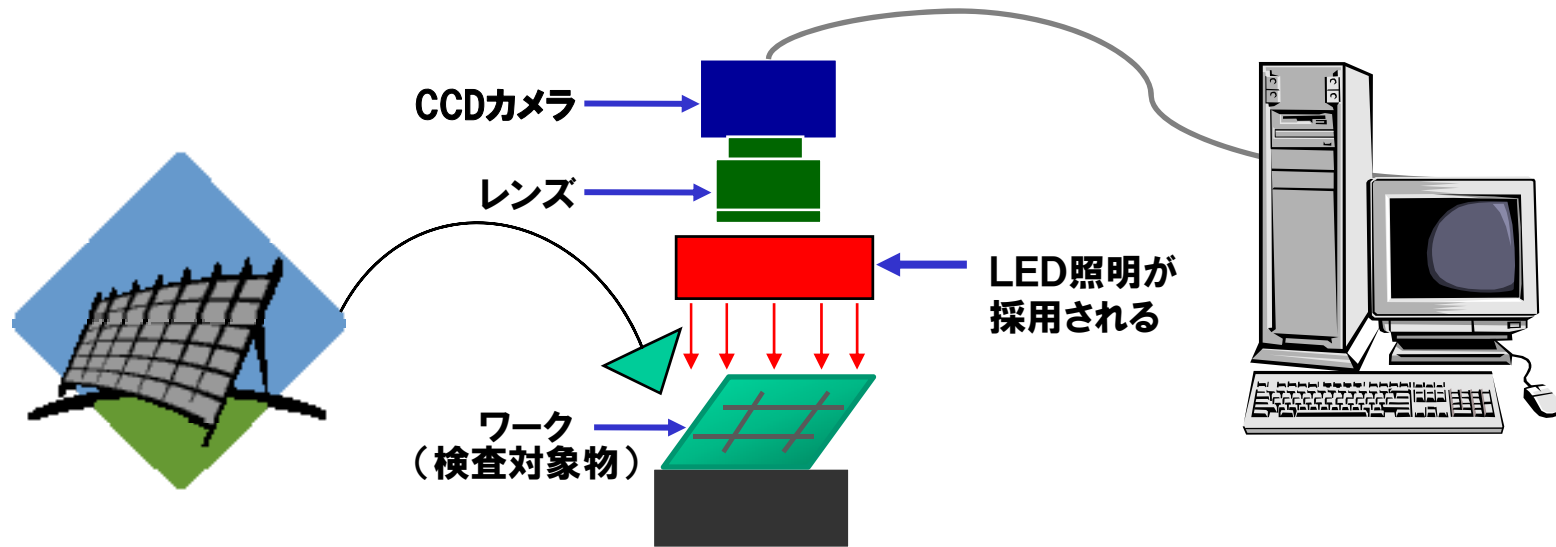
～既存分野での事業拡大と 新たな事業展開～

2009年7月期重点施策

1. 自然光LEDのマーケットをつくる
2. グローバル化とローカル化
3. マシンビジョン分野での新規重点施策

既存分野における注力ポイント①／2
急成長の太陽電池と
リチウムイオン電池向けを狙う

導入事例：太陽電池パネルの外観検査用途



太陽電池パネルの設置
に関する優遇政策



太陽電池の設備投資
が増加

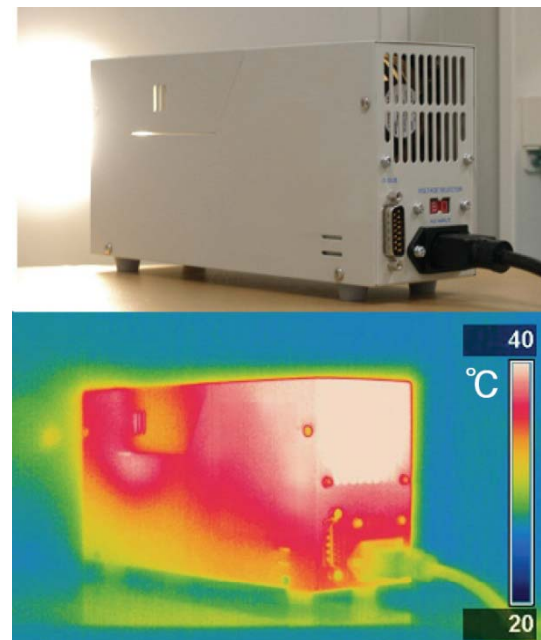
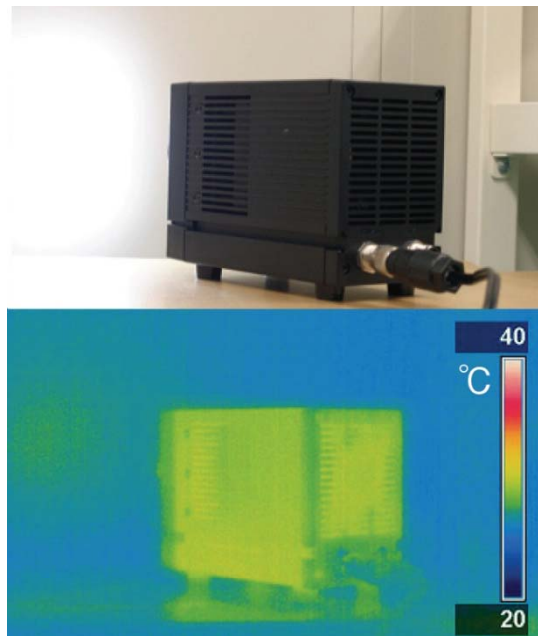
電子機器の高性能化、
多機能化



リチウムイオン電池
の設備投資が順調

既存分野における注力ポイント②／2
ハロゲン置換えによる
環境提案に注力

LED光源ボックス(ハロゲン光源との比較)①



低消費電力

周囲温度の低減(空調費用の削減)

CO2排出量の削減(地球温暖化防止)

20Wの低消費電力

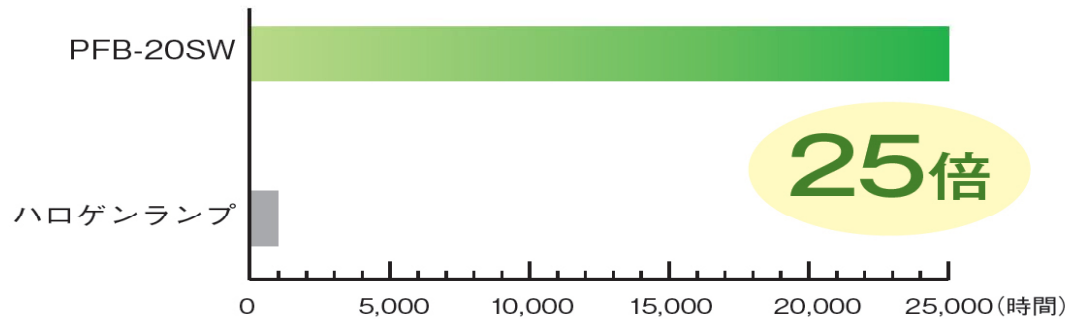
● PFB-20SW-Fと100Wハロゲンの消費電力比較



LED光源ボックス(ハロゲン光源との比較)②

寿命

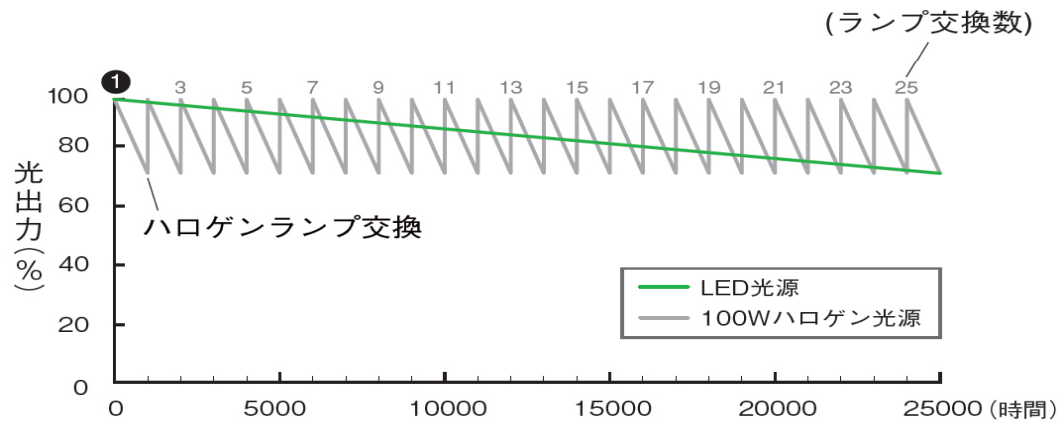
● PFB-20SWとハロゲンランプの寿命比較



※ 調光100%、周囲温度25℃、光出力70%低下までの計算値。(保証値ではありません)

長期にわたって
メンテナンスフリー

ランプ交換工数

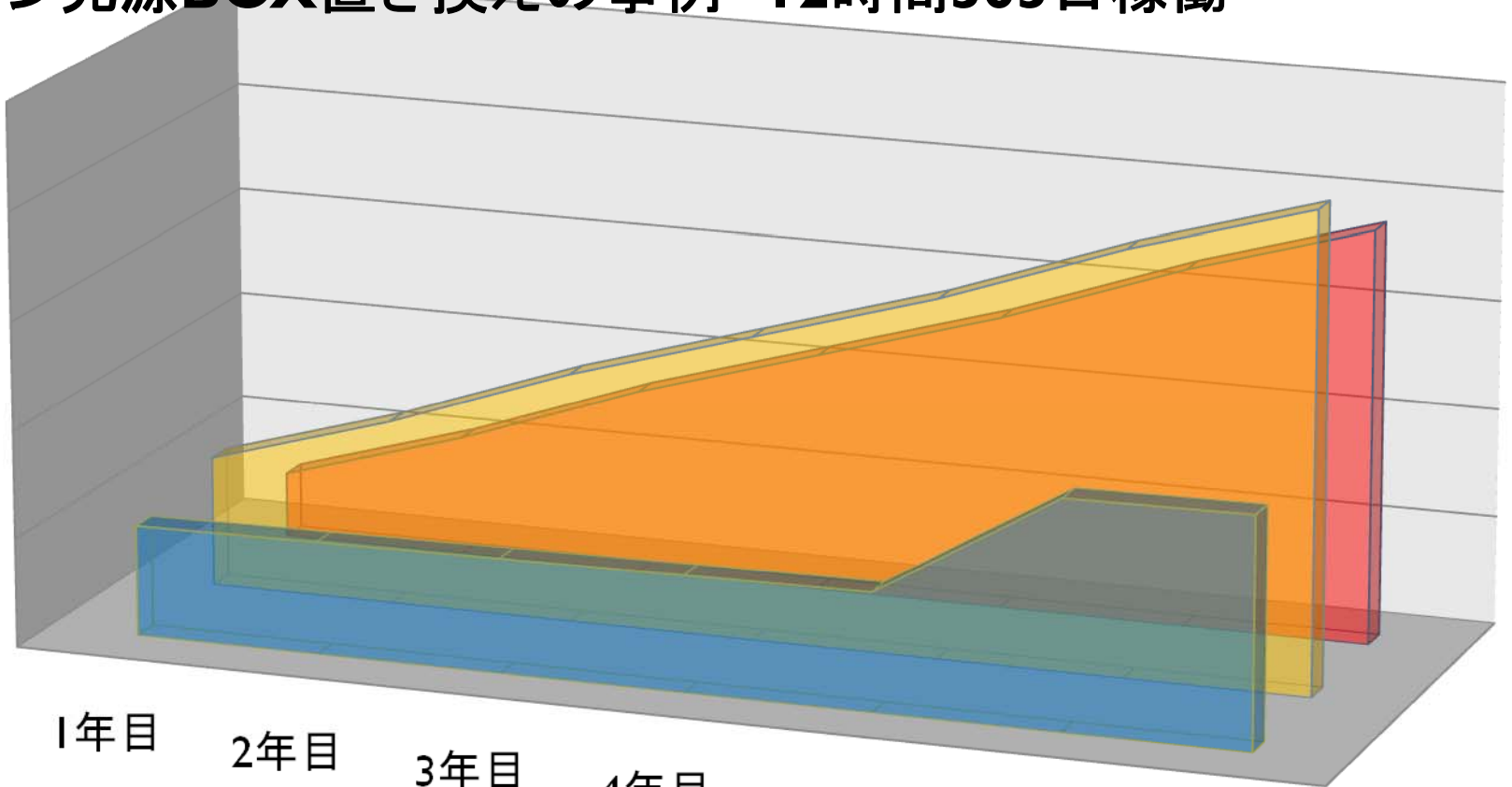


※ ハロゲンランプを1,000時間おきに取り替えた場合と、LED光源の寿命までの光量変化をイメージにて比較。

廃棄物を低減

ハロゲン光源BOX置き換えの事例 12時間365日稼働

250,000
200,000
150,000
100,000
50,000
0



1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目

条件

電気代: 10円/Kwh

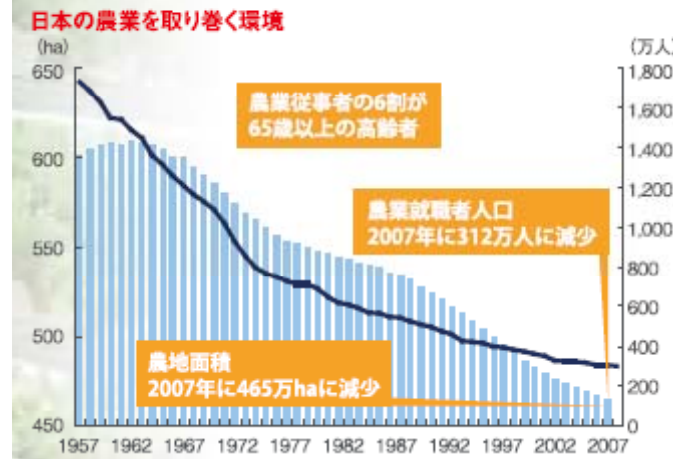
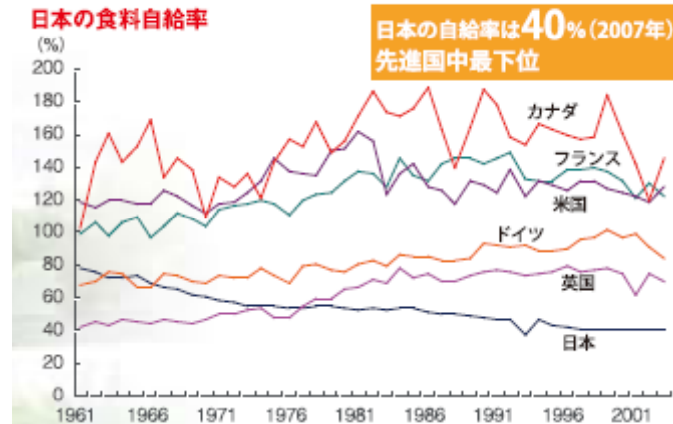
ハロゲン球: 4,800円

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
■ PFB-20W	50,920	51,840	52,759	53,679	54,599	105,519	106,439
■ 他社製ハロゲン(新設)	60,001	85,201	115,202	140,402	165,603	195,604	220,804
■ 他社製ハロゲン(既設)	30,001	55,201	85,202	110,402	135,603	165,604	190,804

新規分野における注力ポイント①／3 植物育成プラント事業へ参画

農業を取り巻く環境

＜農業における問題点＞



(農林水産省および総務省データより作成)

＜政府の動き＞

経済産業省と農水省
による植物工場の
ワーキンググループ
を設置
(2009年1月)

農業の解決策として
植物工場への
期待が高まる

当社がこれまで進めてきた研究

LEDと植物の関係についての研究

赤色LEDと青色LED
による育成研究



実験を始めた当時
＜2000年＞

研究所レベルで
野菜の特性の測定



研究室および自社の
実験プラントでの実験
＜2005年＞



大規模植物工場(エンジェ
ルフーム福井)での実験
＜現在:2009年＞

蛍光灯からLEDへ置換え
(味、栄養価、コスト面の調整)

共同研究と今後の方向性

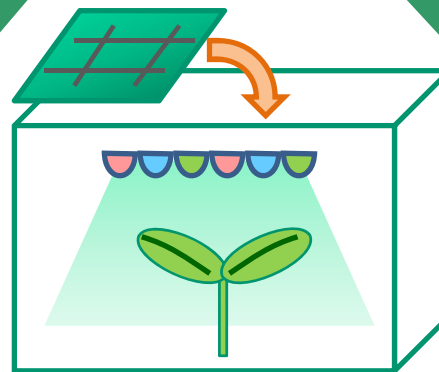


太陽電池を使った
野菜工場の共同研究

三菱化学が
フェアリーエンジェルへ
2008年6月に
出資

三菱化学
太陽電池の技術

フェアリーエンジェル
栽培とプラント技術



LEDによる植物育成
共同研究

シーシーエスが
フェアリーエンジェルへ
2008年12月に
出資

シーシーエス
LEDによる
植物育成技術

2008年2月から
LEDで実験本格スタート

新規分野における注力ポイント②／3

新規分野の商品化

京都の伝統技術とハイテク技術を融合

LEDゆらぎ照明

コラボ1 京和傘・日吉屋(京都市上京区)



国際ホテル・レストランショー
(2009/2/24~27、東京ビッグサイト)

コラボ2 和紙・型絵染工房(京都市右京区)



新規分野における注力ポイント③／3
自然光LED搭載商品の市場投入

業界初 自然光LED照明を発売

特徴

- ①目にやさしい
- ②太陽光に近い色を再現
～業界No.1の演色性～

従来の
白色
LED

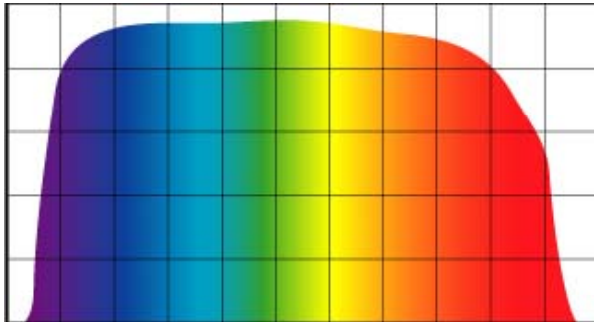


自然光
LED

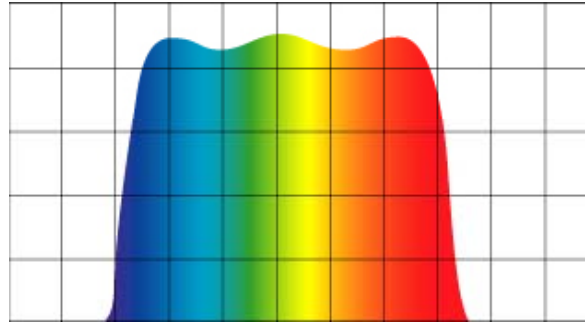


自然光CNR
(2009年3月発売)

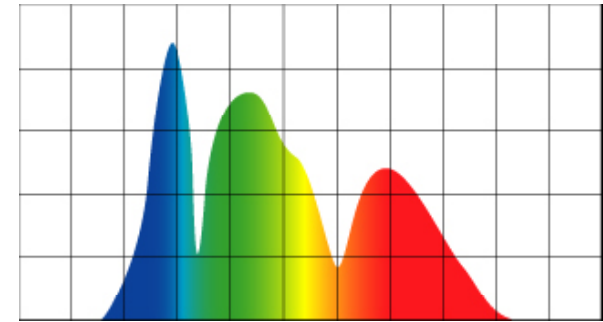
自然光LEDとは



太陽光 (Ra=100)



CCS自然光LED (Ra=98)

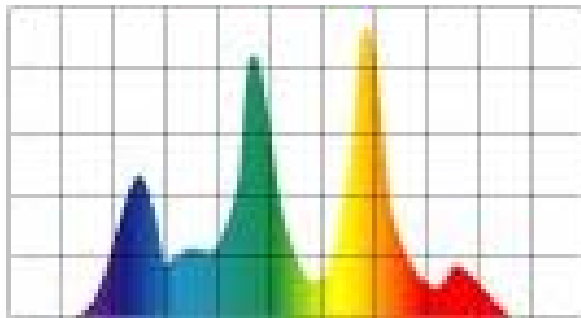


他社の演色LED (Ra=92)

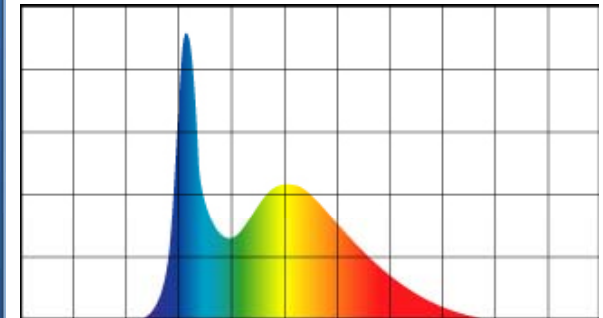
自然光LEDの特徴

本来の色を再現
(世界最高の演色性)

目にやさしい
(紫外光および赤外光以外の
全ての色の波長がバラン
スよく出ている)



3波長蛍光灯 (Ra=70)



従来の白色LED (Ra=70)

自然光LEDのマーケットをつくる

当社がねらう用途

自然光LEDを用いると
こんなメリットがあります

顕微鏡・目視検査用



目にやさしい、演色性が高い

医療用



正確に観察することができる

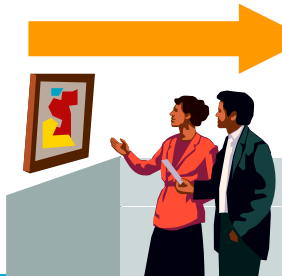
店舗用

(百貨店の化粧品売場、花屋、
ブランドショップなど)



太陽光の下での色味を確認
できる

美術館、博物館などの
芸術品・重要文化財



作品を傷めない
本来の色味を鑑賞できる

中長期ビジョン
コア技術の進化と深化
マーケットの創造

新たな光産業を創出し、光の世界企業を目指す

バイオ・アグリ分野

- ・研究向け
- ・植物工場向け



メディカル分野

- ・病院向け



新規事業

新たなマーケットの創造

主力事業

マシンビジョン照明事業
(工業用LED照明)

目視・顕微鏡分野

- ・工場向け
- ・研究所向け



民生・商業分野

- ・イベント向け
- ・店舗向け
- ・美術館・博物館向け



オリジナルLEDデバイス

新技術の確立

ライティングソリューション

コア技術の活用

《注意事項》 本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

(ジャスダック、証券コード:6669)

<http://www.ccs-inc.co.jp>

管理本部 情報企画部 広報IR課

TEL (075)415-8291

FAX(075)415-7724

京都市上京区烏丸通下立売上ル

桜鶴円町374番地

Copyright(C) CCS Inc. All Right Reserved.